上津基幹集落センター解体工事

図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称	図面番号	図　面　名　称
Ａ－０１	建築物解体工事特記仕様書（１）	Ｃ－０１	基礎伏図	Ｅ－０１	電気設備　１階平面図		
Ａ－０２	建築物解体工事特記仕様書（２）	Ｃ－０２	２階梁伏図	Ｅ－０２	電気設備　２階平面図		
Ａ－０３	仕上表１	Ｃ－０３	Ｒ階梁伏図				
Ａ－０４	仕上表２						
Ａ－０５	配置図兼仮設工事図						
Ａ－０６	解体後配置図						
Ａ－０７	１階平面図						
Ａ－０８	２階平面図						
Ａ－０９	立面図１						
Ａ－１０	立面図２						
Ａ－１１	断　面　図						
Ａ－１２	１階建具平面図						
Ａ－１３	２階建具平面図						

令和２年２月

特　記　仕　様　書

Ⅰ　工　事　概　要

1　工　事　名　称　上津基幹集落センター解体工事
2　工　事　場　所　三重県伊賀市北山地内
3　用途地域等
　都市計画区域（⊙ 内 ・ 外）　用途地域（　　）
　防火地域等（・ 防火 ・ 準防火 ⊙ 指定なし ⊙ ２２条 ）
　その他の地域・地区（　　）
4　主　要　用　途　集落センター
5　敷　地　面　積　　㎡
6　工事の概要　上津基幹集落センター解体工事
　既存施設の解体
　・上津基幹集落センター解体　４０１．３６㎡
　（アスベスト除去レベル３及び建物解体）

7　別　途　工　事

8　そ　の　他

9　特記仕様書の範囲
　特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。
　・ 外構工事特記仕様書　・ 植栽工事特記仕様書
　・ 電気設備工事特記仕様書　・ 機械設備工事特記仕様書
　・　　・

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

1．共通仕様
　図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書(平成24年版）」（以下、「解体共通仕様書」という。）による。
　ただし，「解体共通仕様書」に記載されていない事項は，「公共建築工事標準仕様書（平成25年版）」(以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書(平成25年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
　なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

2．特記仕様
　1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
　2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
　3）特記事項に記載の［　］、（　）及びく　＞内の表示番号は、それぞれ「解体共通仕様書」、「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	① 一般事項	⊙ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ⊙ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ⊙ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に，以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤，擁壁，内外壁，床，建具等）を調査・記録し，報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲　※　図示 ・
	② 適用基準等	⊙ 産業廃棄物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」。「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法」という。）及び「三重県建設副産物処理基準」に基づき適正に処理すること。 ⊙ 工事写真の撮り方〈建築編〉第２編 工事写真の撮り方（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
	③ 工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合）　[1.1.4] 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない
	④ 電気保安技術者	⊙ 適用する　※ 適用しない　[1.3.3]
	⑤ 事故報告	[1.3.8] 工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑥ 完成図等	営繕工事完成引渡要領により作成する。 ㊗ 完成図　１部 ※ マイクロフィルム（県指定様式）　１部 ※ 青焼２つ折製本　１部 ※ 青焼Ａ４版折製本（黒表紙金文字入）　１部 ※ 青焼縮小（Ａ３版）２つ折製本　１部 ㊗ 敷地の完成図面電子データJWW形式又はDXF形式　CD1枚
	⊙ 構造体（鉄骨）が分かる写真	⊙ 別添資料（平面図）で示した３箇所（○のところ）について、解体時（壁を壊した後）に構造体（鉄骨）が分かる写真を撮影し提出すること。
	⊙ 提出書類	⊙ 施工計画書、仮設計画書、工事写真、工事日報、その他監督員の指示するものとする。
	⑦ 完成写真	※ 作成する 建築工事写真撮影要領により、~~完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原板（ネガ又は電子媒体）とともに~~監督職員に提出する。 ~~なお，原板を電子媒体とする場合は，CD等で提出すること。~~ 分類：※カラー・白黒／サイズ：※Ｌ・２Ｌ・六切り／撮影箇所数：※写真撮影要領の完成写真程度・箇所　枚／部数：※１部・部／提出様式：※工事用アルバムA4版ポケット式程度・フリーアルバム（台紙寸法323×270程度）⊙Ａ４版用紙に１ページあたり３枚 ・ 作成しない
	⑧ 火災保険等	工事目的物及び工事材料等について，次により保険に付す。 保険の種類　・ 火災保険　※ 建設工事保険　・ 保険期間　※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで　・
2 仮設工事	① 仮囲い	⊙ 設ける　（位置、延長等は図示） ・ 万能鋼板　(H=　)　・ 波形鉄板　(H=　) ⊙ 単管シート（H=２０００）　・ 防音シート（H=　) ・ 防音パネル（H=　) ・ パネルゲート　(W=　H=　)×　箇所 ⊙ クロスゲート　(W=６０００ H=１８００）×１　箇所 ・ 設けない
	② 騒音、防塵等の対策	※ 設ける（適用範囲、高さ等は図示）　[2.2.1] ・ 防音パネル　⊙ 防音シート ・ 設けない
	③ 交通誘導員	⊙ 配置する（３０日 × １人 ＝ ３０人日）　・ 配置しない
	4．監督職員事務所	・ 設ける ・ 既存建物内の一部を使用する。 ・ 構内に新設する　（規模　２０㎡程度） ・ 備え付ける備品　（事務机、椅子、長机等　）
		※ 設けない
	⑤ 工事表示板	営繕工事における工事及びコスト表示要領により設置する。 ※ 工事表示板　設置枚数　１枚 ・ 事業コスト表示板　設置枚数　枚 ※ 建設リサイクル法による標識を設置する。
	⑥ 工事用水	構内既存の施設　㊗ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償） ・ 利用できない
	⑦ 工事用電力	構内既存の施設　㊗ 利用できる（ ※ 有償 ・ 無償） ・ 利用できない
	⑧ 工事用通路	※ 指定しない　・ 指定する（図示）
	⑨ 足場その他	内部足場　⊙ 脚立、足場板等　・　〈2.2.1〉 外部足場　※ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種　〈表2.2.1〉 防護シート　⊙ 設ける　⊙ 防音シート　・ その他） ・ 設けない 材料の運搬　・ Ａ種　・ Ｂ種　・ Ｃ種　〈表2.2.2〉 ※ Ｄ種　・ Ｅ種 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。
	⑩ その他	⊙ 酸素・アセチレン・軽油等の危険物は所定の位置に施錠できる小屋等に保管すること。 ⊙ 作業通路は，指定通路表示を行い，足場等の堅固なもので頭上の保護を行うこと。 ⊙ 建物周辺は，粉塵防止や火災発生に備えて散水を行うこと。 ⊙ 工事に関係部分の出入の表示を行うこと。
3．解体施工	① 解体工法	※ 解体工法は，低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ，防音シートや散水等により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。 ※ 解体方法及び手順は，「分別解体等に係る施工方法に関する基準（建設リサイクル法規則第２条）」による。
	② 施工計画書等	[1.2.1～2] 工程表・施工計画書・仮設計画書等は，工事契約後速やかに監督職員に提出し，承諾を得ること。
	3．杭	杭の解体　[3.9.2] ・ 行う　（※杭頭から　mまで　・全長　） 杭の解体工法 ・ 引き抜き工法　（・ 振動　・ ケーシング　・　） ・ 粉砕による解体
	④ 樹木等	樹木の伐採伐根及び移植　[3.10.1] ⊙ 行う（図示による）
	⑤ 地下埋設物の埋設配管	地下埋設物及び埋設配管の解体　[3.11.1] ⊙ 行う（図示による）
	⑥ 解体後の整地	解体後の埋戻し及び盛り土　[3.12.1] ⊙ 行う 埋戻し及び盛土の材料　(3.2.3)(表3.2.1) ・ Ａ 種　※ Ｂ 種　・ Ｃ 種　・ Ｄ 種 ・ 構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を現場内で破砕したもの（粒径４０mm以下）を使用する。 埋戻し範囲　・ 図示による Ｃ種の場合 建設発生土受入れ量　m3 発生場所 受入条件 整地の高さ　・ 現状ＧＬ ・ 図示よる ⊙ 現状ＧＬ
4 建設廃棄物の処理	① 再資源化等	[4.4.1(b)] 建設廃棄物の種類／中間処理施設又は再資源化施設の名称等／所在地（ｋｍ） ⊙コンクリート ・コンクリート及び鉄から成る建設資材 ・アスファルト、コンクリート ⊙木材 ・金属類 ・小型二次電池
		[4.4.1(c)] 建設廃棄物の種類／再資源化の有無／再資源化施設の名称等／所在地（ｋｍ） ・蛍光ランプ HIDランプ　・する ・しない ・硬質塩化ビニル管・継手　・する ・しない ・ガラス　・する ・しない
		現場利用する再資源化された建設廃棄物　[4.4.1(f)] 種　類／利用する場所(箇所)等
		※ 鉄筋コンクリートを現地で破砕し，再生材クラッシャラン（0～40）として利用する場合は，標準仕様書(表22.3.3)の再生材クラッシャランによることとし，すりへり減量を50%以下にすること。
	2．産業廃棄物広域認定制度の活用	[4.4.2] 種　類／所在地等（ｋｍ）
	3．最終処分	・（安定型）　[4.4.4] 種　類／受入施設名称等／所在地(Km)／備考
		・（管理型）（遮断型） 種　類／受入施設名称等／所在地(Km)／備考
		１～３の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること
	4．処分に注意を要する建設廃棄物	[4.5.1] 種　類／処理施設名称等／所在地(Km)／備考 ・CCA処理木材 ・ヒ素又はカドミウム含有石膏ボード ＜対象となる石膏ボード＞ 小名浜吉野石膏（株）　いわき工場　昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの 日東石膏ボード（株）　八戸工場　平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
5 特別管理産業廃棄物の処分等	① 施工調査	[5.1.2] 材　料　名／仕様等（型式、厚さ、数量）／調査の範囲 ※ 図示 ・ 工事対象範囲
	② 特別管理産業廃棄物等の処理及び回収計画	[5.1.3][1.2.2(a)] ※ 種類別に具体的な処理、回収計画を定め施工計画書に記載する。 特別管理産業廃棄物の種類／処分場の名称／所在地等（ｋｍ） ⊙ 廃石綿
	③ PCBを含む機器類等	PCB（ポリ塩化ビフェニール）含有機器　・ 有（数量は図示）　[5.4.3] ⊙ 無 PCB含有シーリング材　・ 有（施工範囲は図示）　[5.4.4] ⊙ 無 PCBを含有する機器等については、飛散、流出がないように適切な容器に納めて適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員を通じて保管事業者に引き渡す。
	4．特殊な建設副産物の回収及び処分	[7.3.1～7] 回収又は処分を行う副産物の種類／対象機器名称／回収業者又は処分場の名称等／保管場所・処分場の所在地等 ・フロン ・ハロン ・イオン化式感知器 ・六フッ化硫黄(SF6)ガス
6 アスベスト含有建材の除去	① 一般事項	石綿等の取扱については、石綿障害予防規則（平成17年2月24日厚生労働省令第21号）(以下、「石綿則」という。）を遵守すること。 施工調査　〈9.1.1(d)〉 ・ 行わない。 ※ 行う　（調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。 調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。） 調査箇所　※ 図示　・（　　） 調査事項 ※ アスベスト含有建材等の使用部位 ※ アスベスト含有建材等の種類、厚さ ※ 施工範囲と工事範囲区分 ※ 廃棄物などの搬出方法 ・ ・
		アスベスト含有分析　〈9.1.1(d)〉 ⊙ 行わない ・ 行う（分析結果は監督職員に提出する。） 分析方法　※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。 材料名／定性分析／定量分析 ・（試料数：　）／・（試料数：　） ・（試料数：　）／・（試料数：　） ・（試料数：　）／・（試料数：　） ・（試料数：　）／・（試料数：　）
		アスベスト粉じん濃度測定　〈9.1.1(e)〉 ・ 行わない ※ 行う（測定する時期・場所等は下表による） 「JIS K 3850-1　空気中の繊維状粒子測定方法－第1部－：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）	室名等
・	測定１	処理作業前	処理作業室内（注１）	※２点 ・３点 ※２点 ・点 ※２点 ・点	
			処理作業室前	※２点 ・点	
・	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	※２点 ・点 ※２点 ・点	
・	測定３	処理作業中	処理作業室内（注１）	※２点 ・３点 ※２点 ・点 ※２点 ・点 ※２点 ・点	
・	測定４		セキュリティゾーン入口（空気の流れを確認）	※１点 ・点 ※１点 ・点 ※１点 ・点	
・	測定５		負圧・粉じん装置の排出吹出口（除じん装置の性能確認）	※１点 ・２点 ※１点 ・点 ※１点 ・点 ※１点 ・点	
・	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	※２点 ・４点 ※２点 ・点	建物４隅境界線
・	測定７	処理作業後シート撤去前	処理作業室内	※２点 ・点 ※２点 ・点 ※２点 ・点 ※２点 ・点	
・	測定８		施工区画周辺又は敷地境界	※２点 ・点 ※２点 ・点	
・	測定９	処理作業後シート撤去後	処理作業室内	※２点 ・３点 ※２点 ・点 ※２点 ・点	
			処理作業室前	※２点 ・点	
測定点総計				２１点	

注１：周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。

（例）アスベスト粉じん濃度測定方法

	測点３	測点１，２，４，６，７，８	測点５
数計機器	位相差・分散顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	２５mm		４７mm
試料の吸引流量	１Ｌ／min	５Ｌ／min	１０Ｌ／min
試料の吸引時間	5min	１２０min	２４０min
試料の透明化	アセトン固定－有機物灰化－屈折率浸液法		
計数条件	総合倍率４００倍、アスベスト繊維総数、通常５０視野		
計数アスベスト	幅３μm未満、長さ５μm以上、アスペクト比（長さ／幅）３以上		
定量限界	５０本／Ｌ	０．４７本／Ｌ	０．３本／Ｌ

記録する項目
　ア．測定結果
　イ．測定時間
　ウ．測定位置（測定高さとともに図面上に記載する。）
　エ．サンプリング条件
　　（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
　オ．マウンティング法
　カ．顕微鏡視野面積、計数視野数
　キ．測定時（各測定場所ごと）の
　　天候、温度、湿度、外気の風速及び風量

測定機関　〈9.1.1(e)〉
　都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関

施工記録報告書の提出
1．施工計画書
2．工事記録及び工事写真
3．産業廃棄物処理記録（廃石綿）
4．施工調査等記録（条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等）
5．作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録
6．その他必要事項
提出部数　３部作成

特記	訂正	名称	図面番号
		上津基幹集落センター解体工事	Ａ－０１
		検図／製図／図名：建築物解体工事特記仕様書（１）／縮尺	設計番号

6 アスベスト含有建材の除去

② 除去工事共通事項

専門工事業者 〈9.1.2(a)〉

アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。

作業主任者の選出 〈9.1.2(b)〉

石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。

除去作業者の教育 〈9.1.2(c)〉

作業者は、就業時に石綿則第27条に基づく教育を受けた者とする。

また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。

特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 〈9.1.2(d)〉

排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを選任し管理しなければならない。

ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。

表示及び掲示

更衣室など見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。 〈9.1.2(f)〉

※ アスベスト作業主任者名と職務内容
※ 関係者以外立入禁止
※ 喫煙・飲食の禁止
※ 「アスベスト除去作業中」の表示
※ アスベストの有害性
※ 取り扱い上の注意事項
※ 使用すべき保護具

周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。

※ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ（労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制装置、曝露防止措置等）」

保護具、保護衣 〈9.1.2(g)〉

作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。

除去したアスベスト含有物の保管、運搬等 〈9.1.3(c)〉〈9.1.4(d)〉〈9.1.5(c)〉

※ 他の内装材、廃棄物等と分別保管
※ 保管場所での飛散防止を施す。また、アスベスト成形版を運搬する場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。
※ アスベスト等の保管場所である旨の表示を行う。

3．アスベスト含有吹付け材の除去（レベル１）

アスベスト含有吹き付け材の除去工事 〈9.1.3(b)〉

・ 行う （適用範囲 ・図示 ・ ）
・ 行わない

作業場等の隔離等 〈9.1.3(a)〉

※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。

隔離シートの性能

※ 床面	※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重
※ 壁面	※ 0.08mm以上のプラスチックシート等

ただし、（一財）日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術（除去）」の審査証明書（以下、「審査証明書」という。）を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。

セキュリティーゾーンの設置 〈9.1.3(a)〉

※ 下表による

適用	室名	状態	
※	更衣室		※ 更衣ロッカー ※ 新品の保護具 ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 洗顔、うがい設備 ・
※	洗浄室	負圧	※ エアシャワー（温水シャワー） ・
※	前室	負圧	・ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご

ただし、（一財）日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術（除去）」の審査証明書（以下、「審査証明書」という。）を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承諾を得ること。

除去物及び汚染等 〈9.1.3(b)〉

処理方法

※ 密封処理（二重袋梱包）

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。

・ セメント固化

4．アスベスト含有保温材等の除去

アスベスト含有保温材の除去工事 〈9.1.4〉

・ 行う （適用範囲 ・図示 ・ ）
・ 行わない

養生等 〈9.1.4(b)〉

※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。

掻き落とし、破砕、切断による除去方法

※ 行わない
・ 行う…この場合は改修標仕〈9.1.3〉「アスベスト含有吹き付け材の除去」によること。

除去工法 〈9.1.4(c)〉

※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。
※ 除去物については改修標仕〈9.1.3(b)〉により、密封処理とする。

⑤ アスベスト含有成形板の処理（レベル３）

アスベスト含有成形板の除去工事 〈9.1.5〉

⊙ 行う （適用範囲 ⊙図示 ・ ）
・ 行わない 〈9.1.5(a)〉

養生

※ 作業場は、養生シート等を用いて区画する。

除去工法 〈9.1.5(b)〉

※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。
※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。
※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕されたアスベスト含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。

特記	訂正	名称 上津基幹集落センター解体工事	図面番号 Ａ－０２
		図名 建築物解体工事特記仕様書（２） 縮尺	設計番号
		検図 製図	

■外部仕上表

屋　根	アスファルトシングル葺き 木毛セメント板 t=25下地	巾　木	コンクリート打放し仕上	樋	軒樋：アスファルトシングル用谷樋 竪樋：鋼管　１２５φ		
軒　裏	２階：コンクリート打放し仕上 １階：軒天　スパンドレルW＝１００　ＬＧＳ下地	建　具	アルミサッシ				
		ﾎﾟｰﾁ床	モルタル下地５０角タイル張				
外　壁	外壁：吹付けタイル仕上げ	ﾎﾟｰﾁ外壁	外壁：吹付けタイル仕上げ				
	柱型：コンクリート打放し仕上 梁型：コンクリート打放し仕上	ﾎﾟｰﾁ天井	スパンドレルW＝１００ ＬＧＳ下地				

■内部仕上表

階	室　名	床	床高	巾　木	腰　壁	腰高	壁	天　井	天井高	廻　縁	備　考
1	玄関Ａ	50角タイル張	1FL-100	御影石　H=100			ビニルクロス貼	ＰＢｔ＝9.5下地　岩綿吸音板ｔ＝12	CH=2650		下足箱(W1800*H1200*D400)
		モルタル下地					モルタル金コテ下地	ＬＧＳ下地			
	玄関Ｂ	50角タイル張	1FL-100	御影石　H=100			ビニルクロス貼	ＰＢｔ＝9.5下地　岩綿吸音板ｔ＝12	CH=2650		下足箱(W1000*H1200*D400)
		モルタル下地					モルタル金コテ下地	ＬＧＳ下地			
	ロビー	カーペット敷き	1FL±0	木製ＣＬ　H=60			ビニルクロス貼	ＰＢｔ＝9.5下地　岩綿吸音板ｔ＝12	CH=2550		
		モルタル金コテ下地					モルタル金コテ下地	ＬＧＳ下地			
	廊下Ａ	カーペット敷き	1FL±0	木製ＣＬ　H=60			ビニルクロス貼	ＰＢｔ＝9.5下地　岩綿吸音板ｔ＝12	CH=2550		
		モルタル金コテ下地					モルタル金コテ下地	ＬＧＳ下地			
	廊下Ｂ	カーペット敷き	1FL±0	木製ＣＬ　H=60			ビニルクロス貼	ＰＢｔ＝9.5下地　岩綿吸音板ｔ＝12	CH=2170		
		モルタル金コテ下地					モルタル金コテ下地	ＬＧＳ下地			
	調理講習室	モルタル金コテ仕上	1FL-30		100角タイル張	1FL+860	ＥＰ	ケイカル板ｔ＝6　ＥＰ	CH=2600		流し台・レンジフード・吊戸棚・湯沸器・壁付換気扇
		土間コンクリート下地			モルタル下地		モルタル金コテ下地	ＬＧＳ下地			
	教養室（8帖）Ａ	タタミ敷	1FL+110	タタミ寄せ			RC部　モルタル金コテ下地　ジュラク塗	竿縁天井	CH=2400		床の間・天井換気扇
		木下地					木部　木下地　ラスボードｔ＝12.5　ジュラク塗	ＬＧＳ下地			
	教養室（8帖）Ｂ	タタミ敷	1FL+110	タタミ寄せ			RC部　モルタル金コテ下地　ジュラク塗	竿縁天井	CH=2400		押入・天井換気扇・欄間
		木下地					木部　木下地　ラスボードｔ＝12.5　ジュラク塗	ＬＧＳ下地			
	床の間	タタミ敷	1FL+220	タタミ寄せ			RC部　モルタル金コテ下地　ジュラク塗	竿縁天井	CH=2400		書院
		木下地					木部　木下地　ラスボードｔ＝12.5　ジュラク塗	ＬＧＳ下地			
	押入	ベニヤｔ＝9	1FL+110	雑布ズリ H=40			ベニヤｔ＝5.5	ベニヤｔ＝4	CH=2400		中段・天袋
		木下地					木下地	ＬＧＳ下地			
	縁	縁甲板張	1FL+70	雑布ズリ H=40			RC部　モルタル金コテ下地　ジュラク塗	竿縁天井	CH=2470		レースカーテン・カーテンレールＳ・カーテンＢＯＸ
		木下地					木部　木下地　ラスボードｔ＝12.5　ジュラク塗	ＬＧＳ下地			
	管理室	Ｐタイル張	1FL±0	ソフト巾木　H=60			RC部　モルタル金コテ下地　ＥＰ	ＰＢｔ＝9.5下地　岩綿吸音板ｔ＝12	CH=2550		受付・郵便ポスト・天井換気扇・火災報知機盤
		モルタル金コテ下地					木部　木下地　ＰＢｔ＝12.5　ＥＰ	ＬＧＳ下地			レースカーテン・カーテンレールＳ・カーテンＢＯＸ
	宿直室	タタミ敷	1FL+135	タタミ寄せ			RC部　モルタル金コテ下地　ＥＰ	竿縁天井	CH=2400		押入・床の間
		木下地					木部　木下地　ＰＢｔ＝12.5　ＥＰ	ＬＧＳ下地			レースカーテン・カーテンレールＳ
	床の間	板張	1FL+135	雑布ズリ　H=40			RC部　モルタル金コテ下地　ＥＰ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ	CH=2400		
		木下地					木部　木下地　ＰＢｔ＝12.5　ＥＰ	ＬＧＳ下地			
	押入	ベニヤｔ＝9	1FL+135	雑布ズリ H=40			ベニヤｔ＝5.5	ベニヤｔ＝4	CH=2400		中段・天袋
		木下地					木下地	ＬＧＳ下地			
	談話室	カーペット敷き	1FL±0	木製ＣＬ　H=50			ビニルクロス貼	ＰＢｔ＝9.5下地　岩綿吸音板ｔ＝12	CH=2555		アコーディオンカーテン(H=2555)
		モルタル金コテ下地					モルタル金コテ下地	ＬＧＳ下地			レースカーテン・カーテンレールＳ・カーテンＢＯＸ
	農村経営談話室	カーペット敷き	1FL±0	木製ＣＬ　H=50			ビニルクロス貼	ＰＢｔ＝9.5下地　岩綿吸音板ｔ＝12	CH=2555		壁付換気扇
		モルタル金コテ下地					モルタル金コテ下地	ＬＧＳ下地			レースカーテン・カーテンレールＳ・カーテンＢＯＸ
	御手洗	長尺塩ビシート張	1FL-20	床巻上げ　H=75			ＥＰ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ	CH=2400		天井換気扇・鏡
		モルタル金コテ下地					モルタル金コテ下地	ＬＧＳ下地			
	倉庫	モルタル金コテ仕上	1FL-20				ＥＰ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ	CH=2550		
		土間コンクリート下地					モルタル金コテ下地	ＬＧＳ下地			
	階段下倉庫	モルタル金コテ仕上	1FL-20				ＥＰ	ＥＰ			
		土間コンクリート下地					モルタル金コテ下地	モルタル金コテ下地			
	階段	カーペット敷き		木製ＣＬ　H=60			ビニルクロス貼	ＰＢｔ＝9.5下地　岩綿吸音板ｔ＝12	2FL+CH=2570		鏡
		モルタル金コテ下地					モルタル金コテ下地	ＬＧＳ下地			

特記	訂正		名称 上津基幹集落センター解体工事		図面番号 Ａ－０３
		検図	製図	図名 仕上表１	縮尺	設計番号

内部仕上表

階	室名	床	床高	巾木	腰壁	腰高	壁	天井	天井高	廻縁	備考
2	ホール・廊下	カーペット敷き	2FL±0	木製ＣＬ　H=60			ビニルクロス貼	ＰＢｔ＝9.5下地　岩綿吸音板ｔ＝12	CH=2570		分電盤
		モルタル金コテ下地					モルタル金コテ下地	ＬＧＳ下地			
	集会室	寄木フロア張	2FL±0	木製ＣＬ　H=50			ビニルクロス貼	ＰＢｔ＝9.5下地　クロス張	CH=2575～3200		暗幕カーテン・レースカーテン・カーテンレールW
		モルタル金コテ下地					モルタル金コテ下地	ＬＧＳ下地			カーテンＢＯＸ
	舞台	板フローリング張り	2FL+450	木製ＣＬ　H=50			有孔ボードｔ＝12.5　ＥＰ	有孔ボードｔ＝9.5　ＥＰ	CH=2750		幕
		木下地					モルタル金コテ下地	ＬＧＳ下地			
	物入・控室Ａ	Ｐタイル張	2FL±0	木製ＣＬ　H=50			RC部　モルタル金コテ下地　ＥＰ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ	CH=2400		レースカーテン・カーテンレールＳ・カーテンＢＯＸ
		モルタル金コテ下地					木部　木下地　ＰＢｔ＝12.5　ＥＰ	ＬＧＳ下地			
	物入・控室Ｂ	Ｐタイル張	2FL±0	木製ＣＬ　H=50			RC部　モルタル金コテ下地　ＥＰ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ	CH=2400		カーテンレールＳ・カーテンＢＯＸ
		モルタル金コテ下地					木部　木下地　ＰＢｔ＝12.5　ＥＰ	ＬＧＳ下地			
	湯沸室	Ｐタイル張	2FL±0	塩ビシート巻上げH=70			ＥＰ	ケイカル板ｔ＝6　ＥＰ	CH=2300		流し台・レンジフード・吊戸棚・湯沸器
		モルタル金コテ下地					モルタル金コテ下地	ＬＧＳ下地			
	図書資料室	Ｐタイル張	2FL±0	木製ＣＬ　H=50			ＥＰ	ＰＢｔ＝9.5下地　岩綿吸音板ｔ＝12	CH=2590		レースカーテン・カーテンレールＳ・カーテンＢＯＸ
		モルタル金コテ下地					モルタル金コテ下地	ＬＧＳ下地			壁付換気扇
	予備室路込	カーペット敷	2FL±0	木製ＣＬ　H=50			RC部　モルタル金コテ下地　ジュラク塗	竿縁天井	CH=2590		
		モルタル金コテ下地					木部　木下地　ラスボードｔ＝12.5　ジュラク塗	ＬＧＳ下地			
	予備室	タタミ敷	2FL+180	タタミ寄せ			RC部　モルタル金コテ下地　ジュラク塗	竿縁天井	CH=2400		レースカーテン・カーテンレールＳ
		木下地					木部　木下地　ラスボードｔ＝12.5　ジュラク塗	ＬＧＳ下地			
	押入	ベニヤｔ＝9	2FL+180	雑布ズリ H=40			ベニヤｔ＝5.5	ベニヤｔ＝4	CH=2400		中段・天袋
		木下地					木下地	ＬＧＳ下地			
	御手洗	長尺塩ビシート張	2FL-20	床巻上げ　H=75			ＥＰ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ	CH=2400		天井換気扇・鏡
		モルタル金コテ下地					モルタル金コテ下地	ＬＧＳ下地			

■ 特記事項

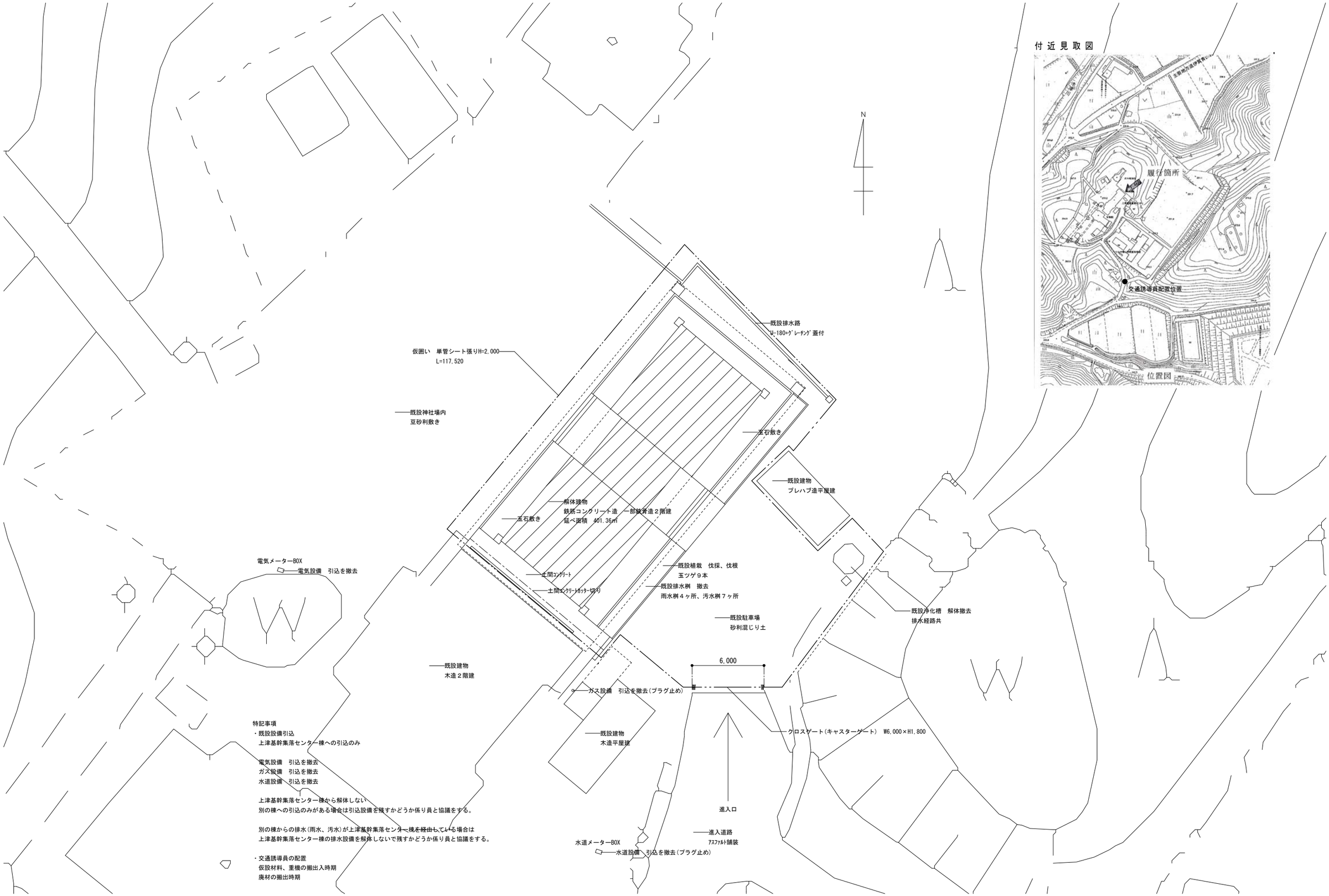
環境配慮解体工事　石綿処理工事　作業レベル３

→　Ｐタイル（アスベスト含有成形板）

→　岩綿吸音板（アスベスト含有成形板）

→　ケイカル板（アスベスト含有成形板）

特記	訂正	名称	図面番号
		上津基幹集落センター解体工事	Ａ－０４
	検図 / 製図	図名：仕上表２　縮尺	設計番号



特記事項

・既設設備引込
上津基幹集落センター棟への引込のみ

電気設備　引込を撤去
ガス設備　引込を撤去
水道設備　引込を撤去

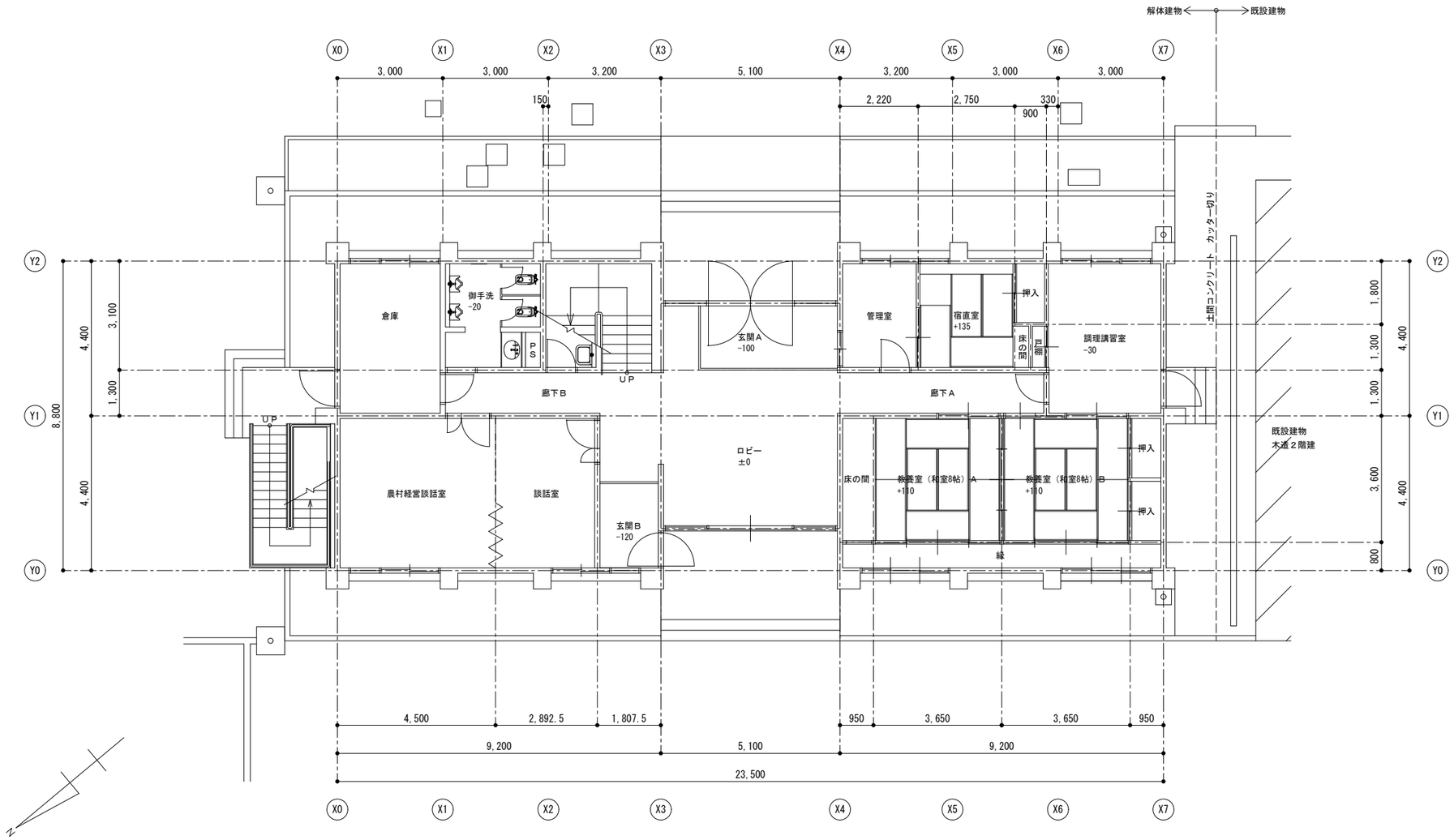
上津基幹集落センター棟から解体しない
別の棟への引込のみがある場合は引込設備を残すかどうか係り員と協議をする。

別の棟からの排水(雨水、汚水)が上津基幹集落センター棟を経由している場合は
上津基幹集落センター棟の排水設備を解体しないで残すかどうか係り員と協議をする。

・交通誘導員の配置
仮設材料、重機の搬出入時期
廃材の搬出時期

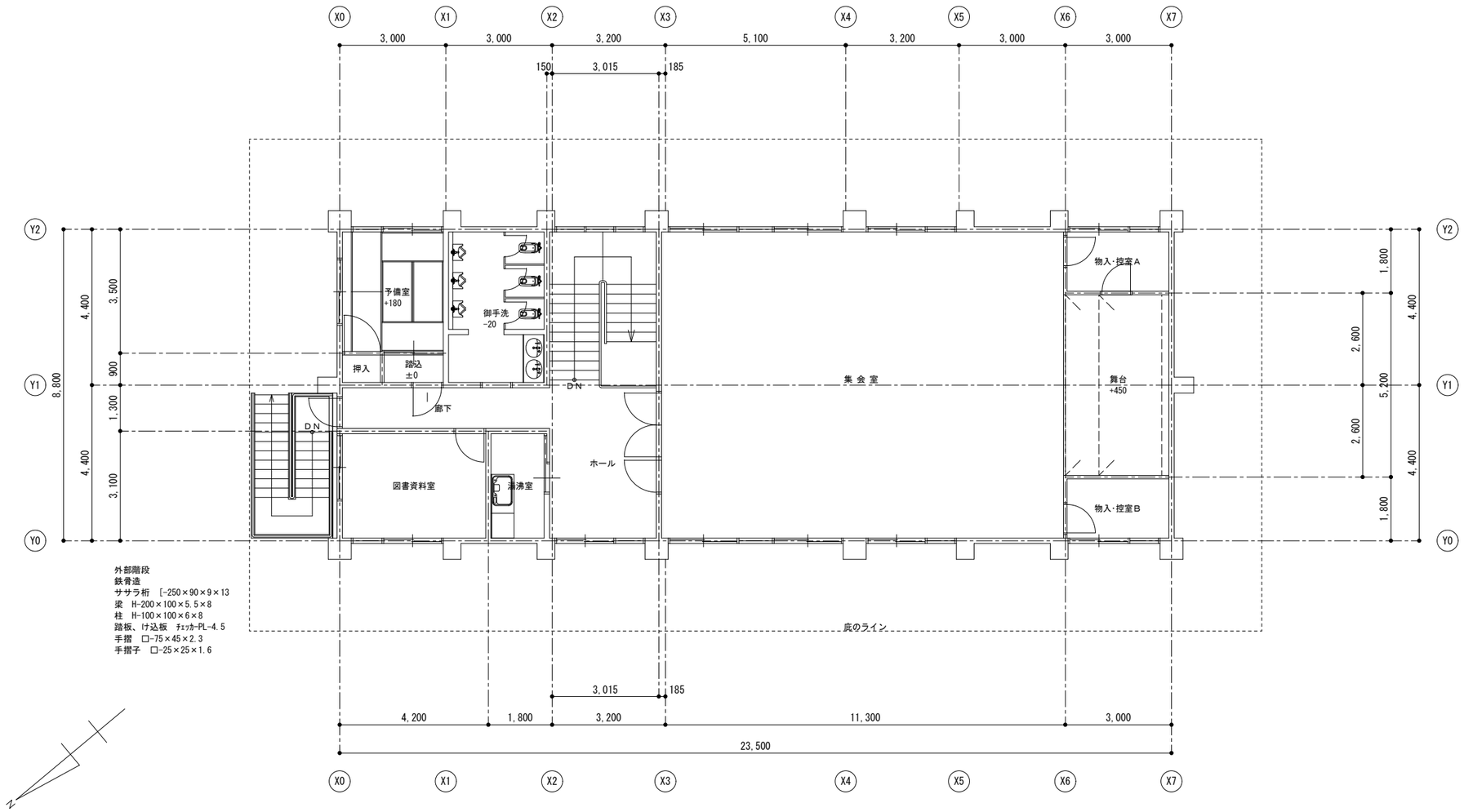
特記	訂正		名称	上津基幹集落センター解体工事	図面番号 A－05
		検図	製図	図名 配置図兼仮設工事図 縮尺 S=1:200	設計番号

特記	訂正		名称	上津基幹集落センター解体工事	図面番号 Ａ－０６
			検図 / 製図	図名 解体後配置図 / 縮尺 S=1:200	設計番号



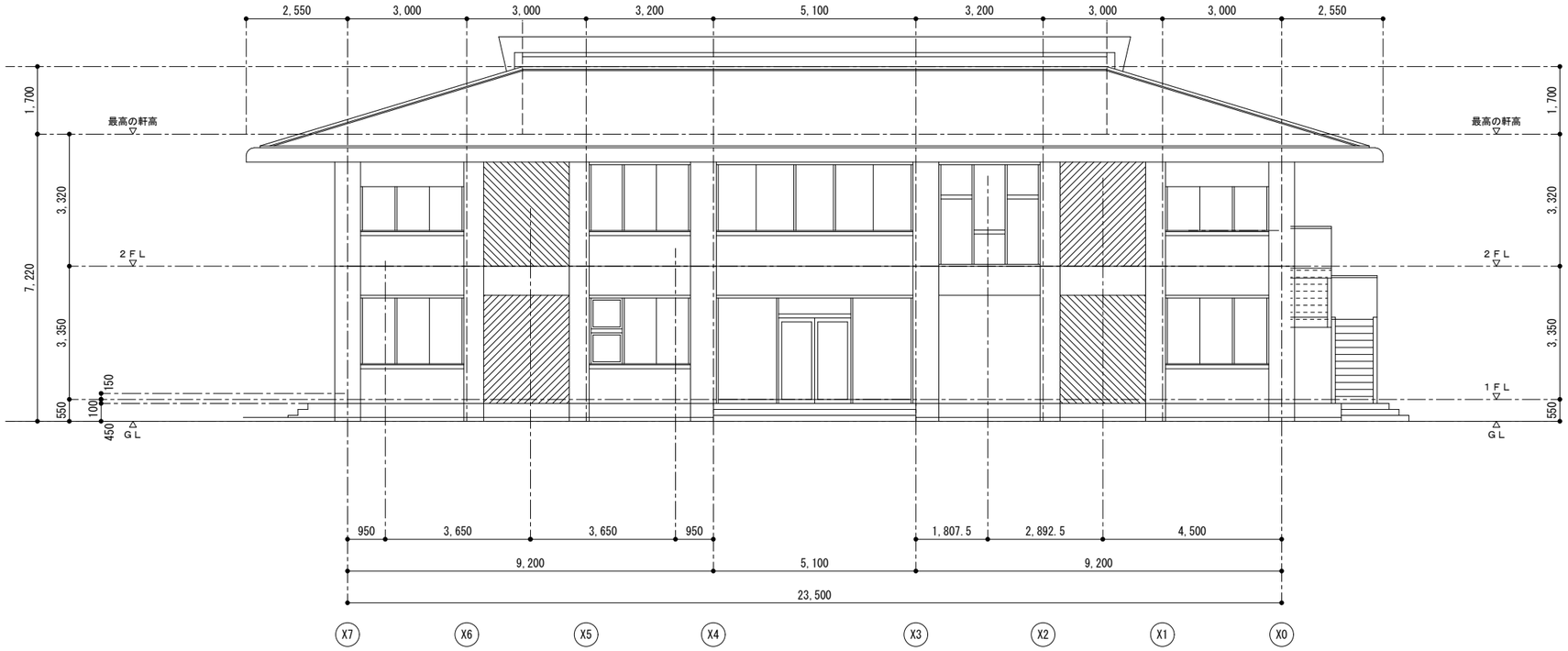
１ 階 平 面 図　　S＝1：100

特記	訂正			名称 上津基幹集落センター解体工事		図面番号 A－07
			検図	製図	図名 1 階 平 面 図	縮尺 S=1:100	設計番号

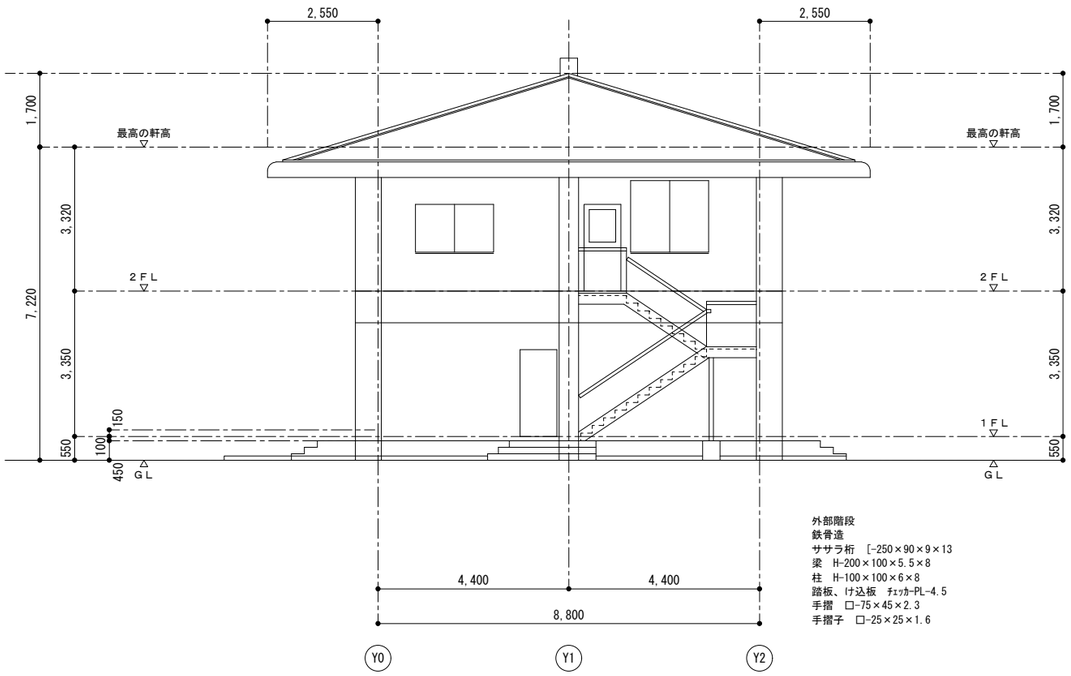


２ 階 平 面 図　　S＝1：100

特記	訂正		名称 上津基幹集落センター解体工事		図面番号 A－08
			検図	製図	図名 ２ 階 平 面 図	縮尺 S=1:100	設計番号



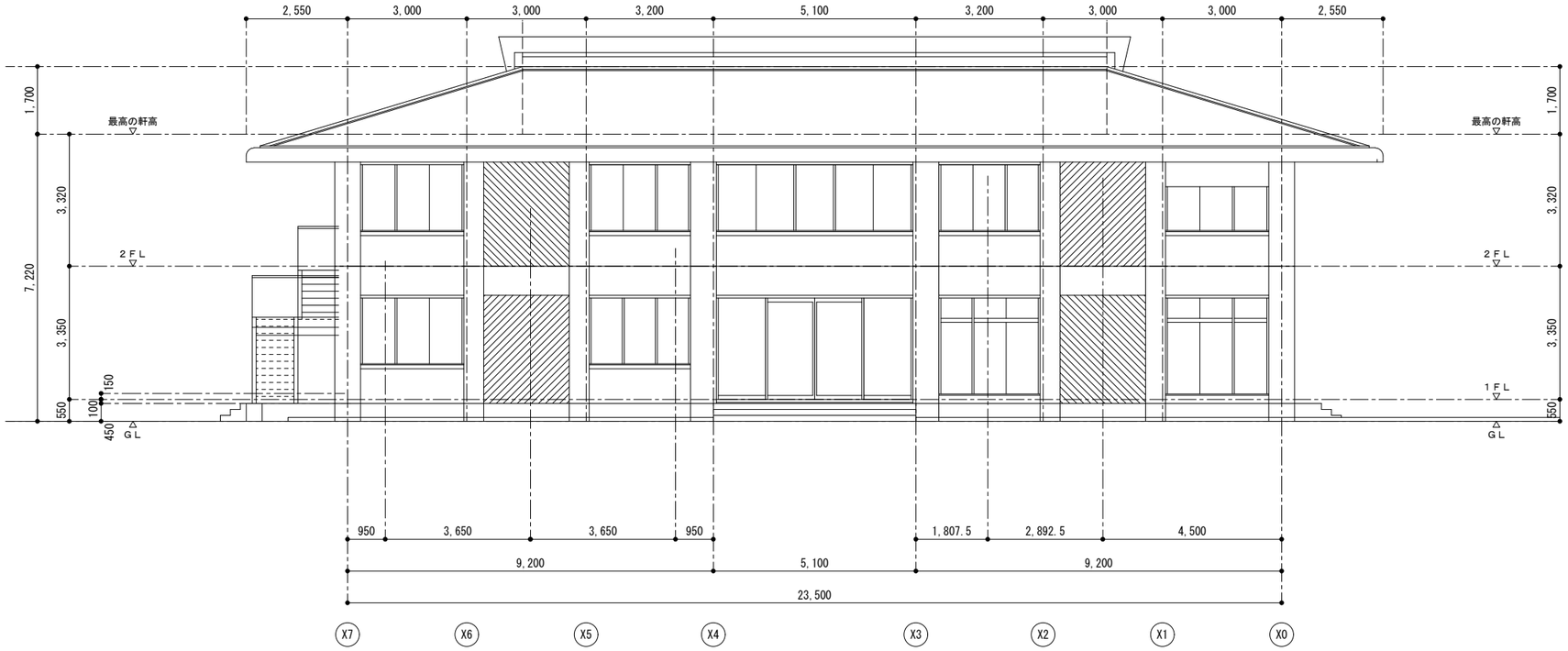
東　立　面　図　　S＝1：100



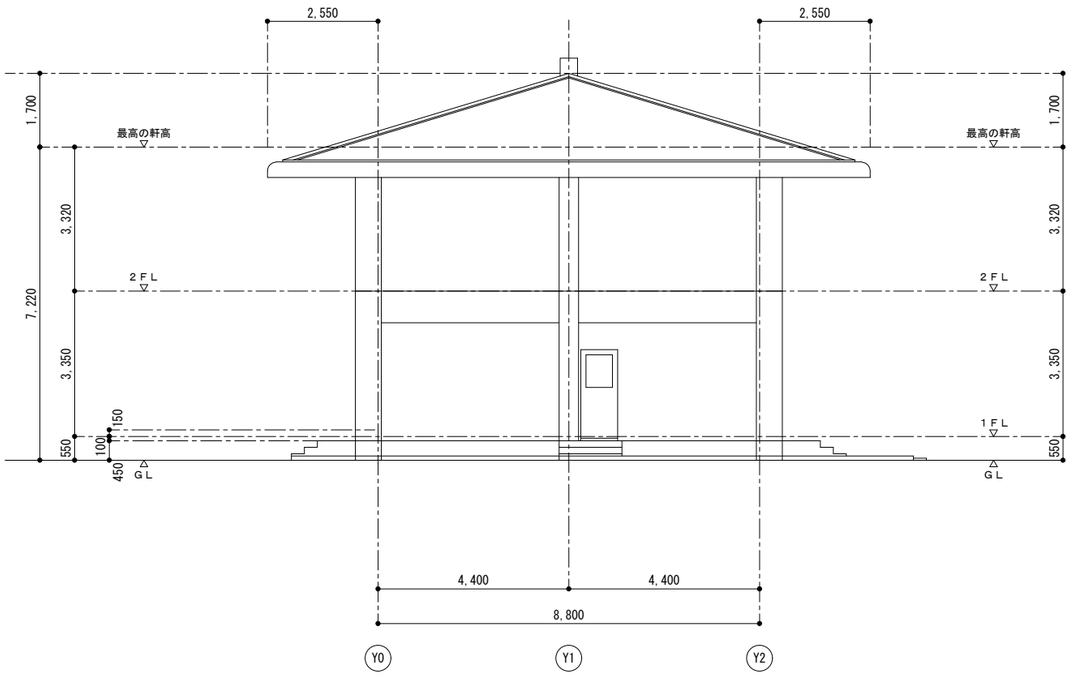
外部階段
鉄骨造
ササラ桁　[-250×90×9×13
梁　H-200×100×5.5×8
柱　H-100×100×6×8
踏板、け込板　ﾁｪｯｶｰPL-4.5
手摺　ロ-75×45×2.3
手摺子　ロ-25×25×1.6

北　立　面　図　　S＝1：100

特記	訂正		名称 上津基幹集落センター解体工事		図面番号 Ａ－０９
			検図	製図	図名 立面図 1	縮尺 S=1:100	設計番号

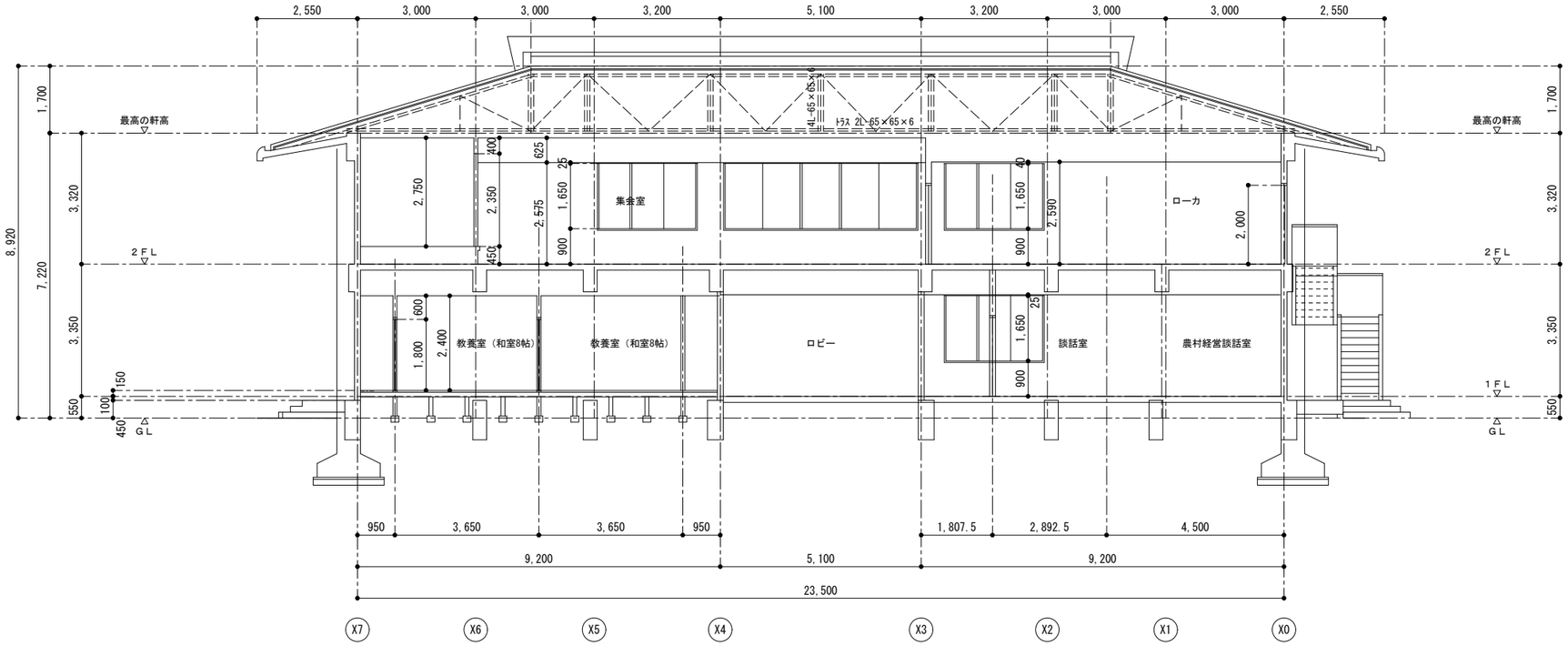


西　立　面　図　　S＝1：100

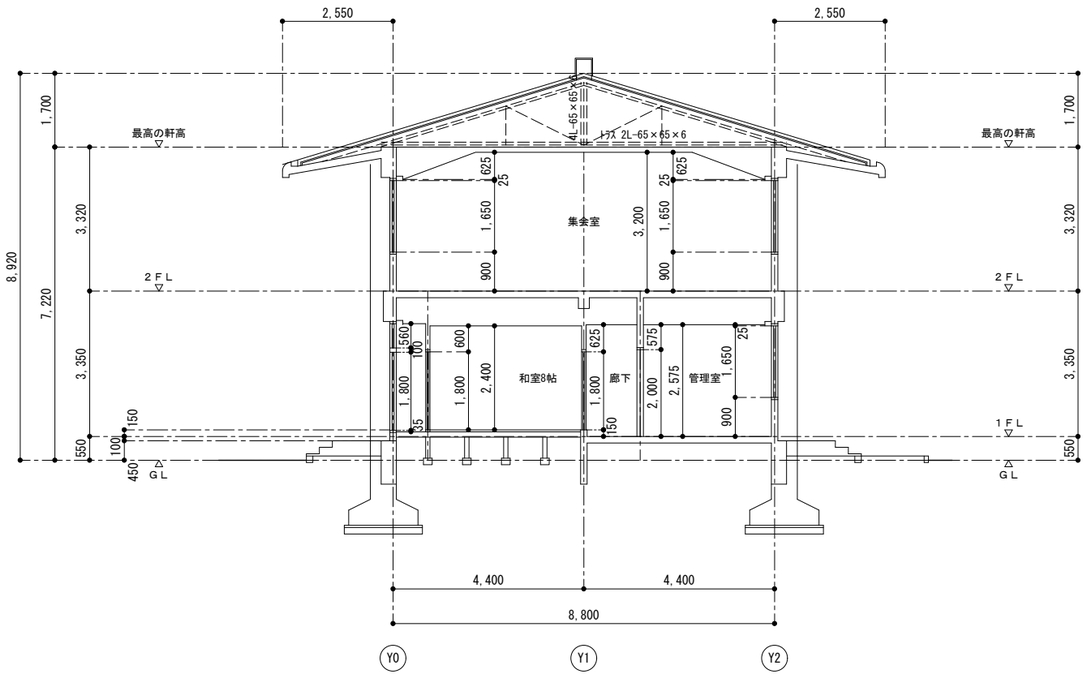


南　立　面　図　　S＝1：100

特記	訂正		名称 上津基幹集落センター解体工事		図面番号 Ａ－１０
		検図	製図	図名 立面図２ 縮尺 S=1:100	設計番号

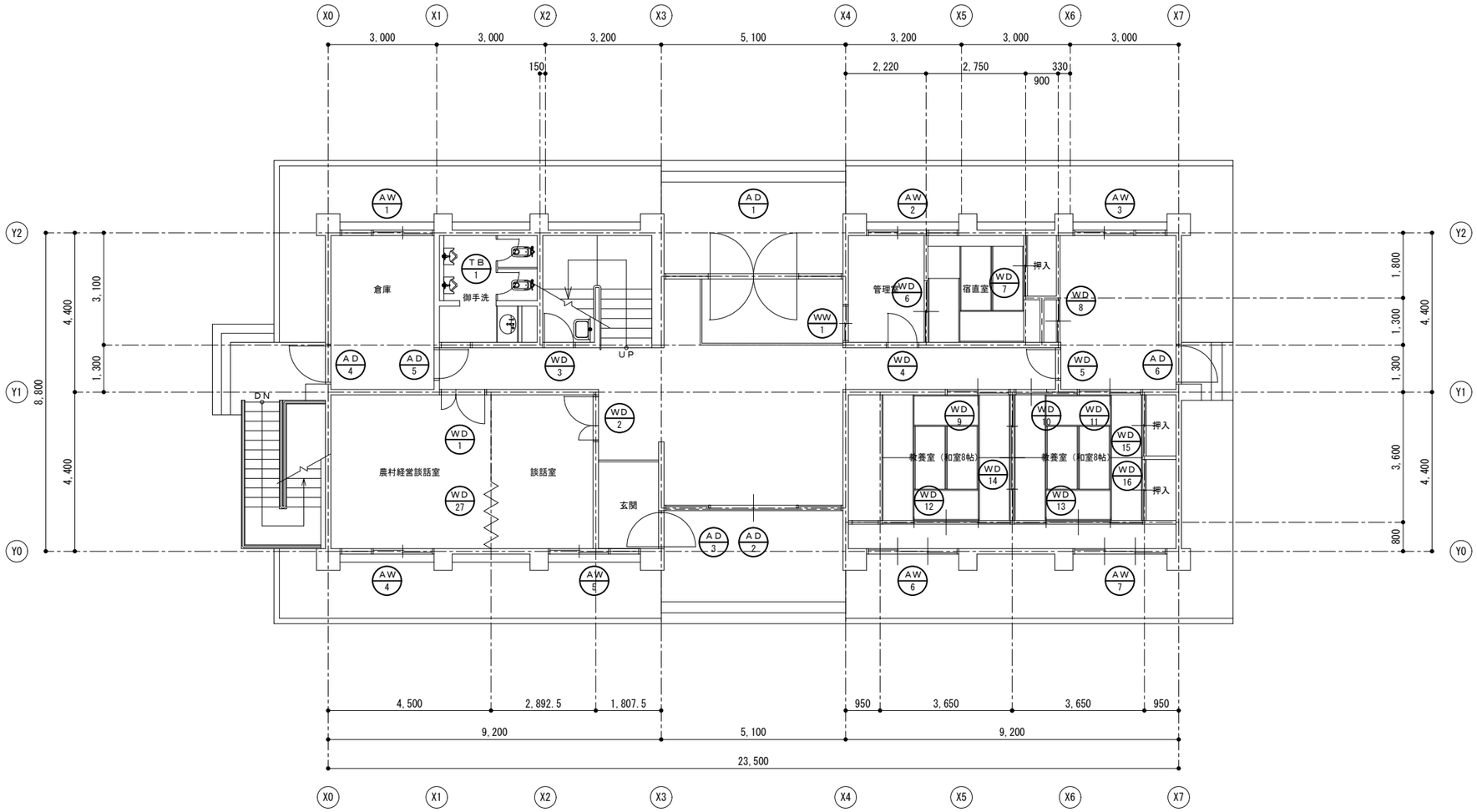


断　面　図　　S＝1：100



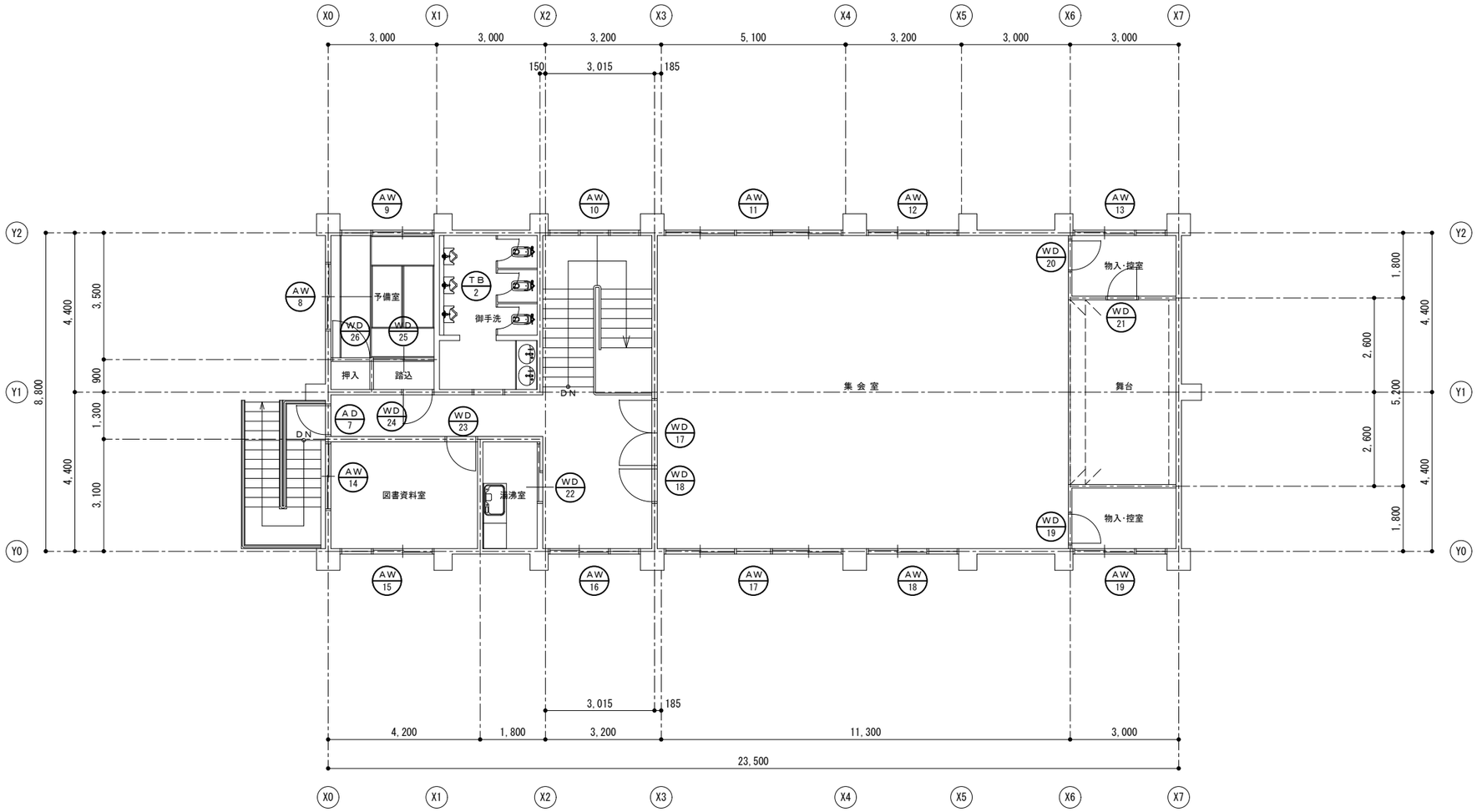
断　面　図　　S＝1：100

特記	訂正		名称 上津基幹集落センター解体工事		図面番号 Ａ－１１
		検図	製図	図名 断　面　図 縮尺 S=1:100	設計番号



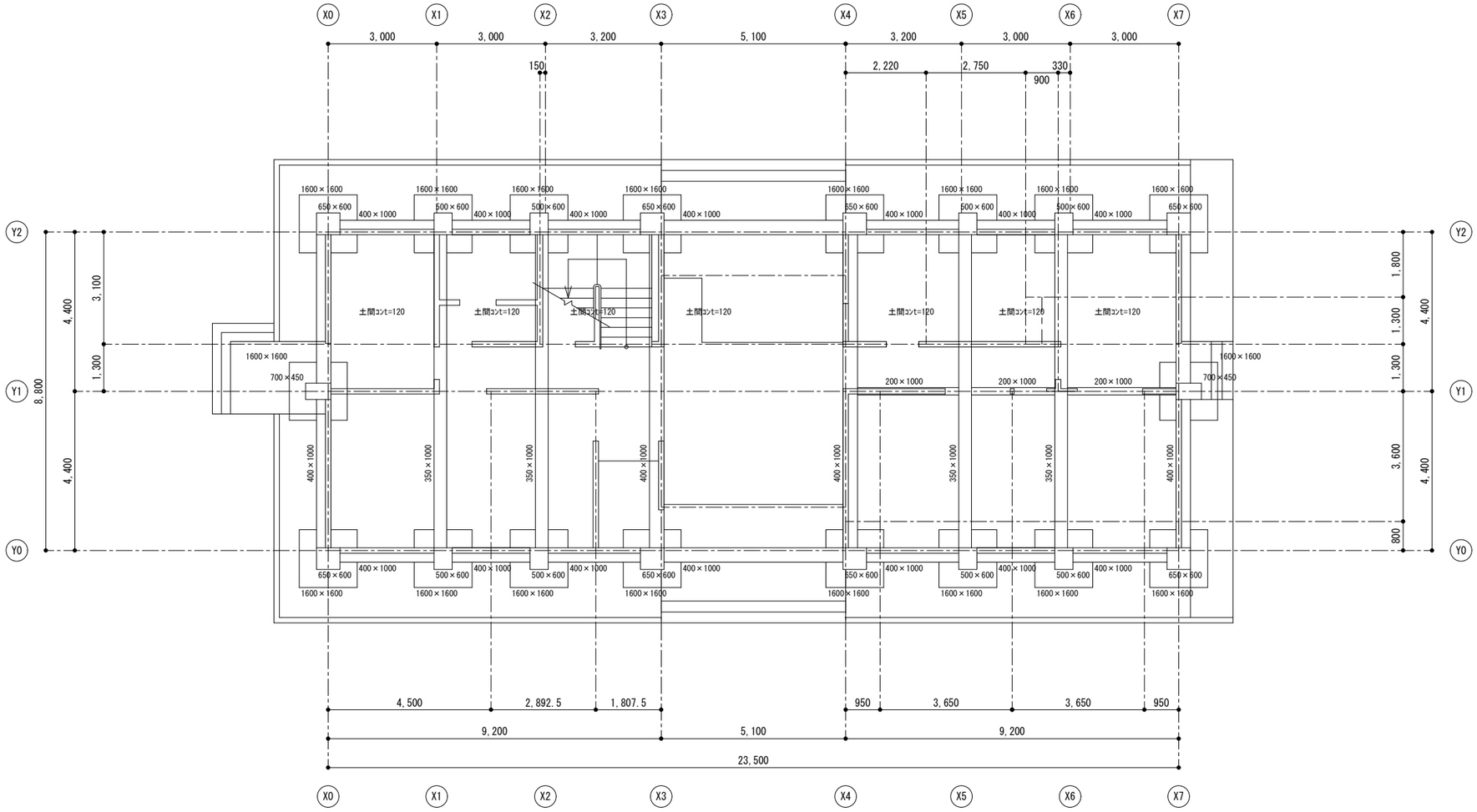
1 階 建 具 平 面 図　　S＝1：100

特記	訂正			名称	図面番号
				上津基幹集落センター解体工事	A－12
		検図	製図	図名 / 縮尺	設計番号
				1 階 建 具 平 面 図 / S=1:100	



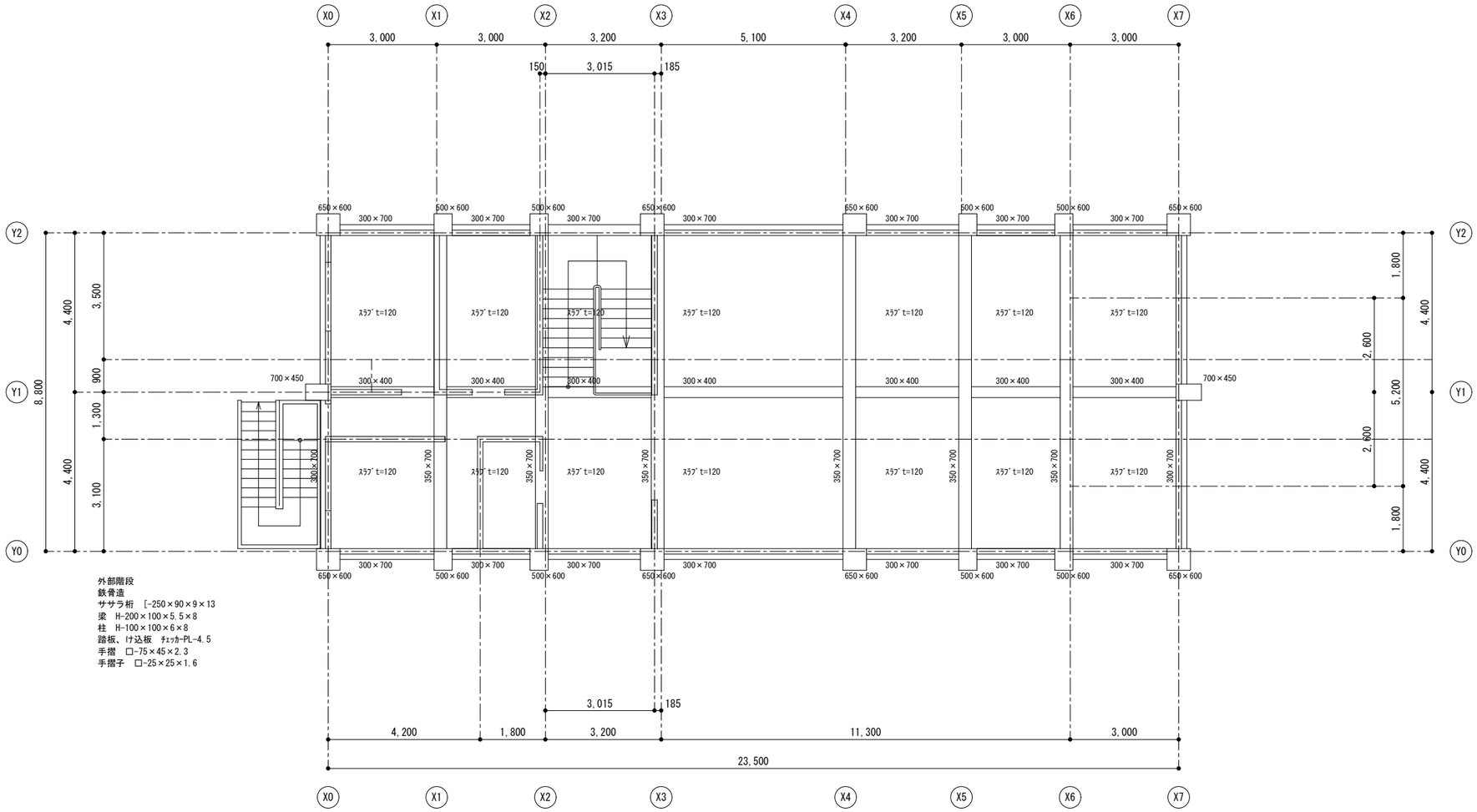
２階建具平面図　　S＝1：100

特記	訂正			名称	図面番号
				上津基幹集落センター解体工事	Ａ－１３
		検図	製図	図名 / 縮尺	設計番号
				２階建具平面図 / S=1:100	



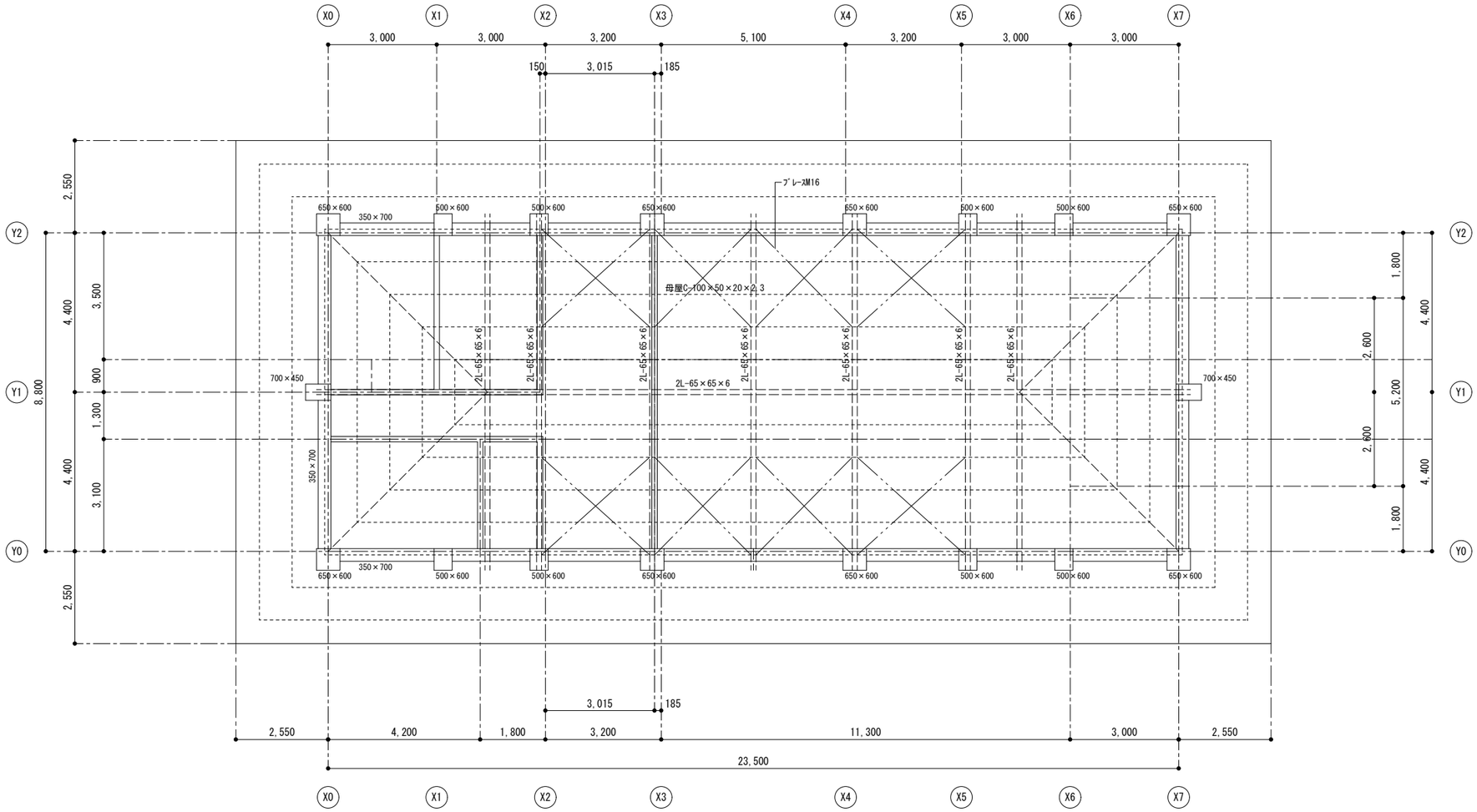
基　礎　伏　図　　S＝1：100

特記	訂正			名称	図面番号
				上津基幹集落センター解体工事	C－01
		検図	製図	図名 / 縮尺	設計番号
				基　礎　伏　図 / S=1:100	



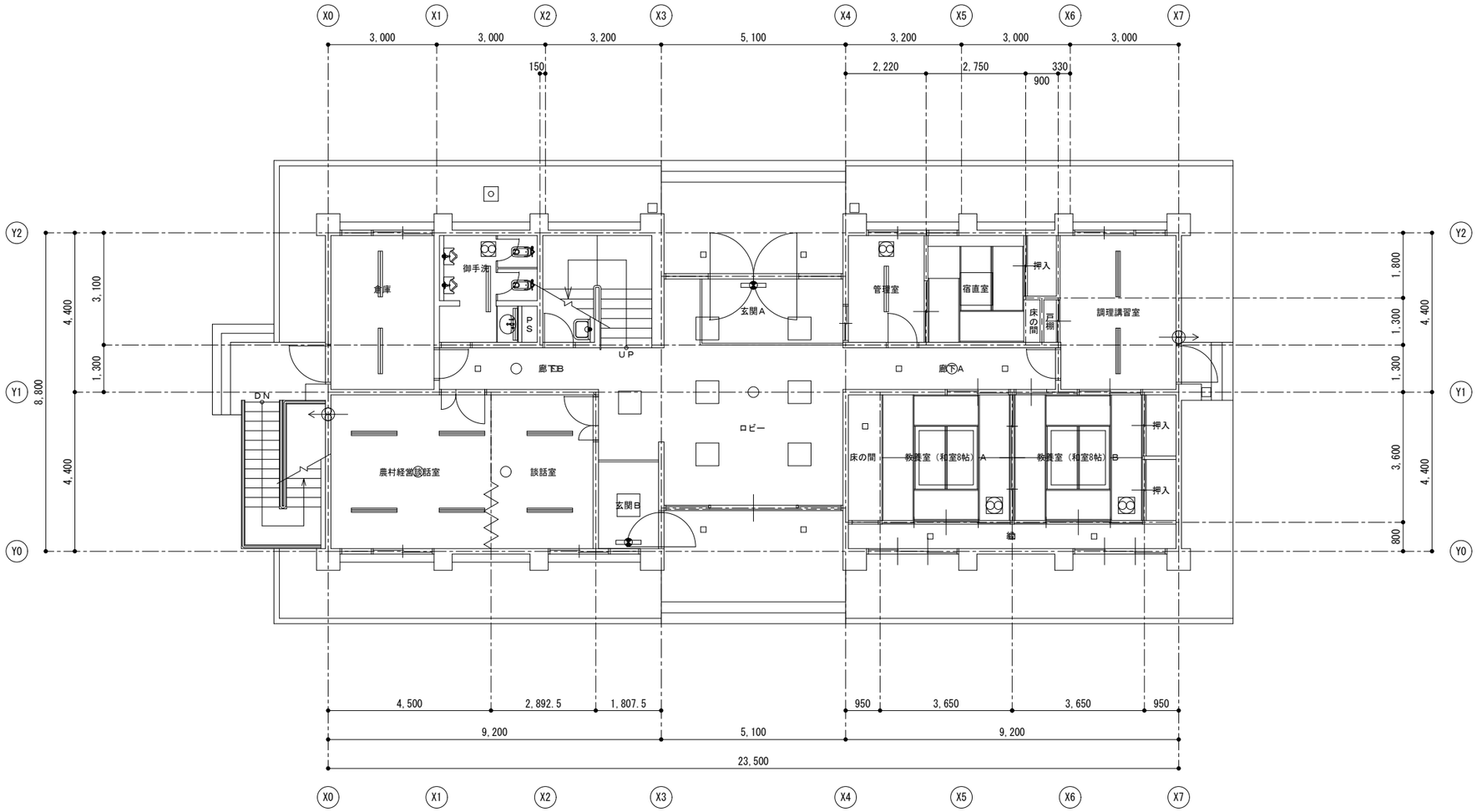
２ 階 梁 伏 図　　S＝1：100

特記	訂正		名称 上津基幹集落センター解体工事		図面番号 C－02
		検図	製図	図名 ２ 階 梁 伏 図　縮尺 S=1:100	設計番号



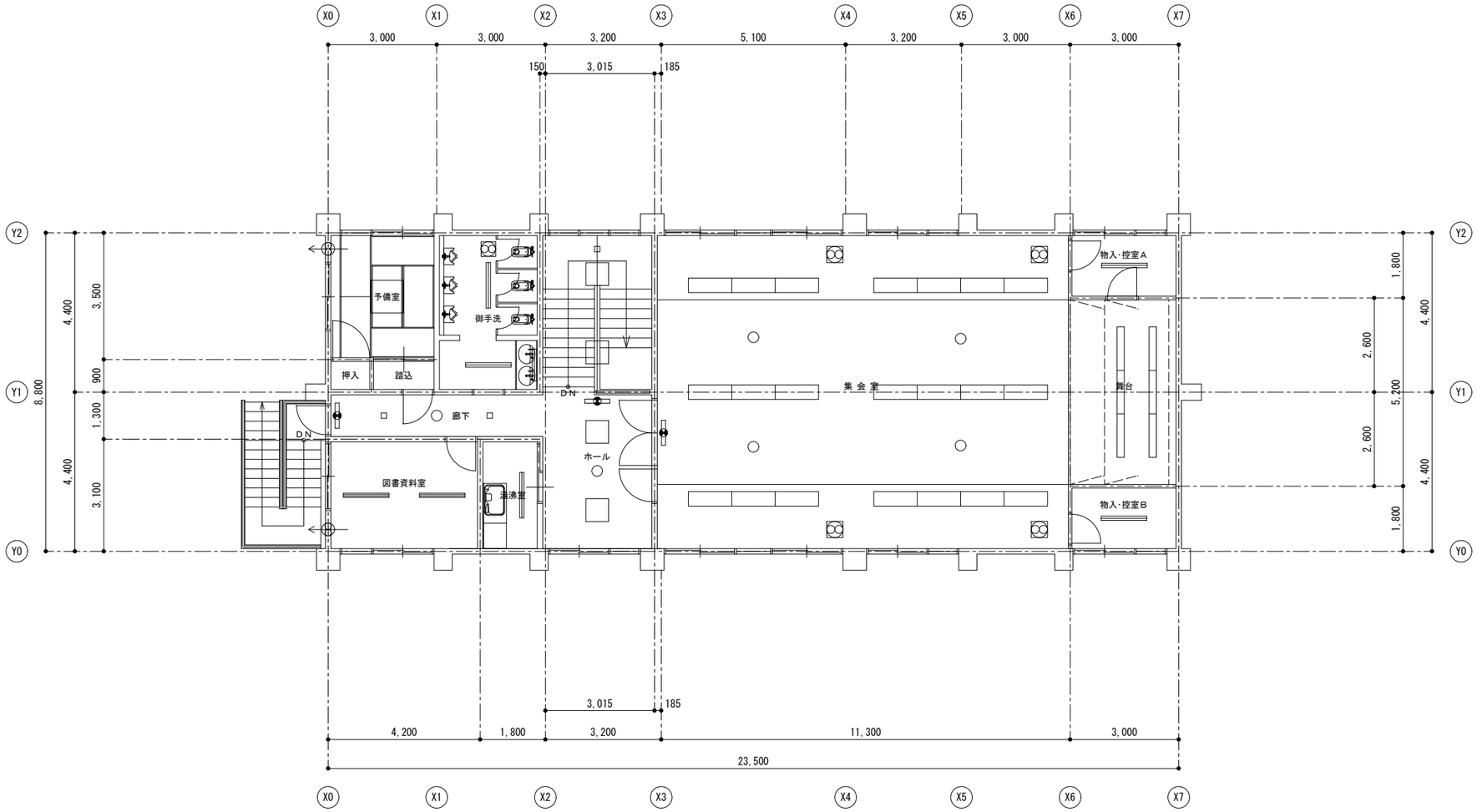
R 階 梁 伏 図　　S＝1：100

特記 訂正			名称 上津基幹集落センター解体工事		図面番号 C－03
		検図	製図	図名 R 階 梁 伏 図	縮尺 S=1:100	設計番号



1 階 平 面 図　　S＝1：100

特記	訂正			名称 上津基幹集落センター解体工事		図面番号 E－01
			検図	製図	図名 電気設備　1階平面図	縮尺 S=1:100	設計番号



２ 階 平 面 図　　S＝1：100

特記	訂正		名称 上津基幹集落センター解体工事		図面番号 E－02
			検図	製図	図名 電気設備　２階平面図　縮尺 S=1:100	設計番号